

国内投資の拡大に向けて

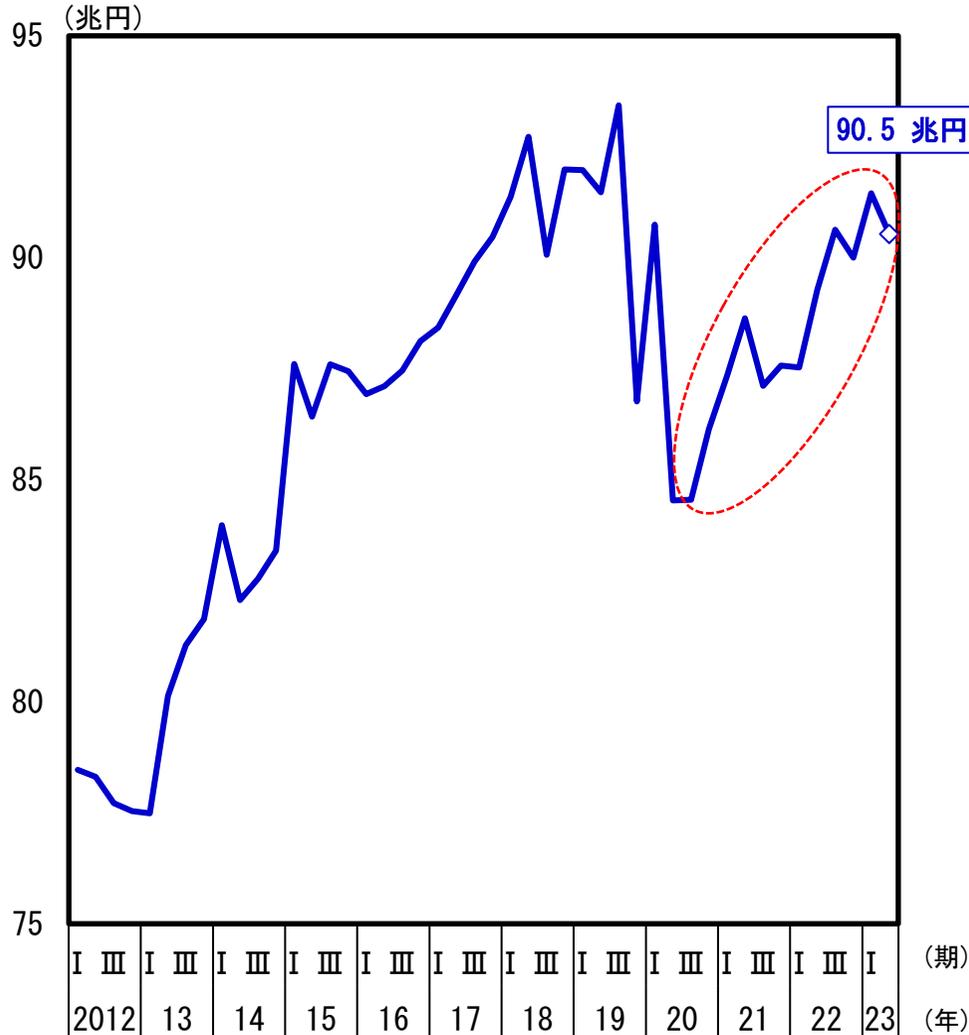
2023年10月4日

内閣府

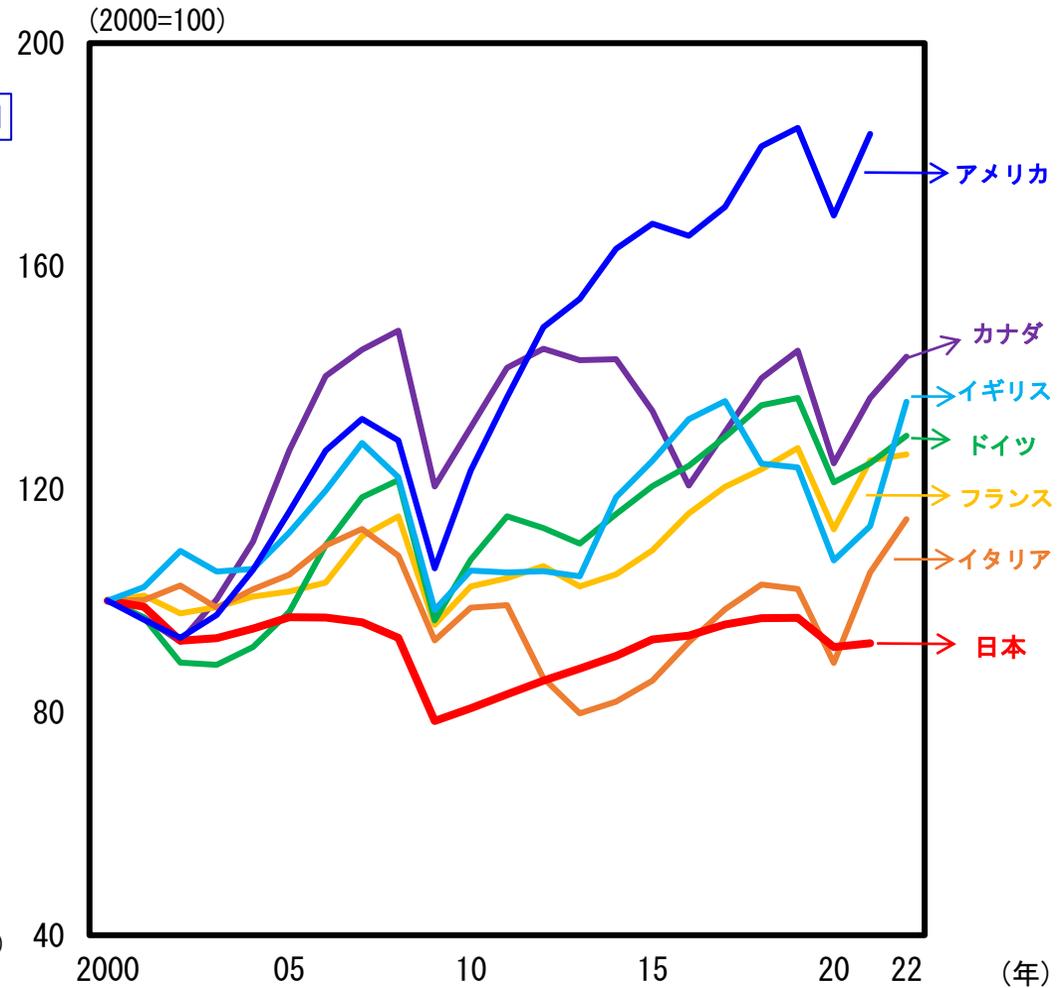
設備投資の動向と各国比較

～ コロナ禍を経て増加しているが、水準は回復しておらず、主要国の中では最も低い水準 ～

図表 1 : 設備投資(実質)の推移



図表 2 : 設備投資額の各国比較

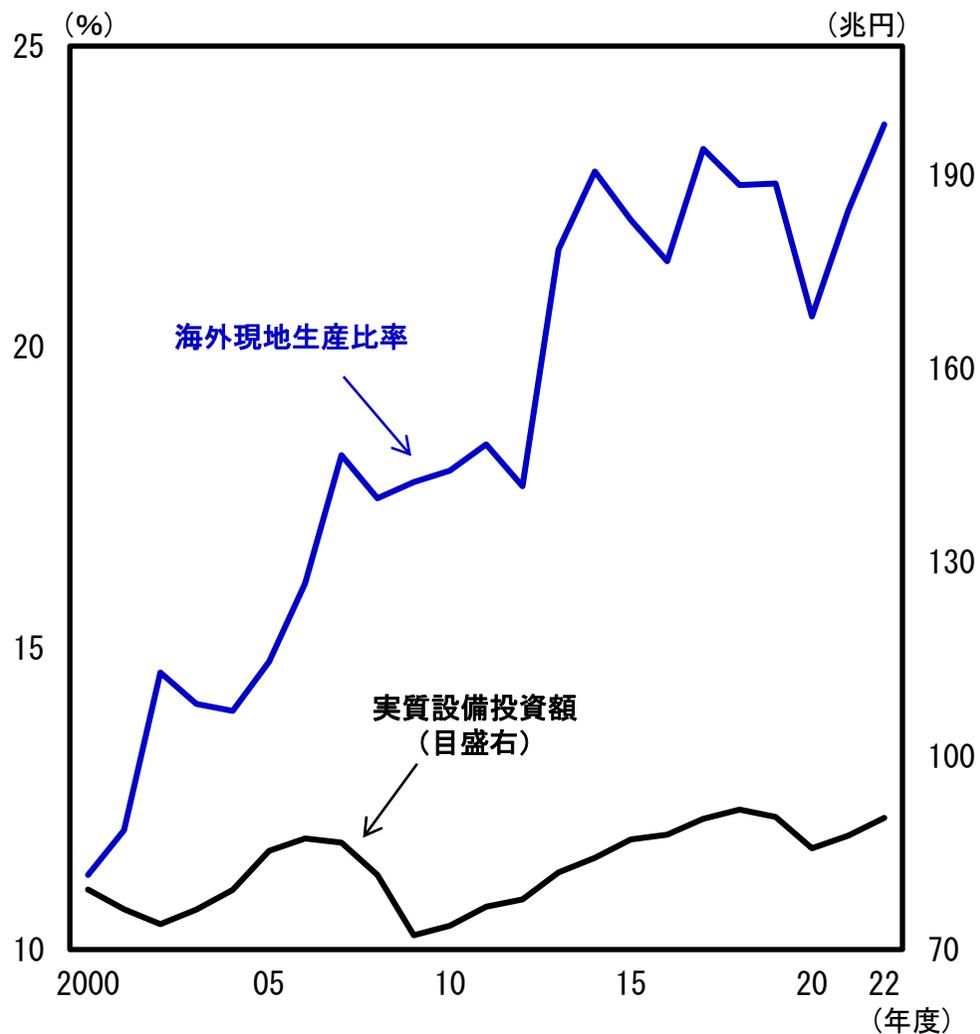


(備考) 図表1: 内閣府「国民経済計算」より作成。季節調整値。図表2: OECDstatより作成。総固定資本形成(機械・設備(実質値))

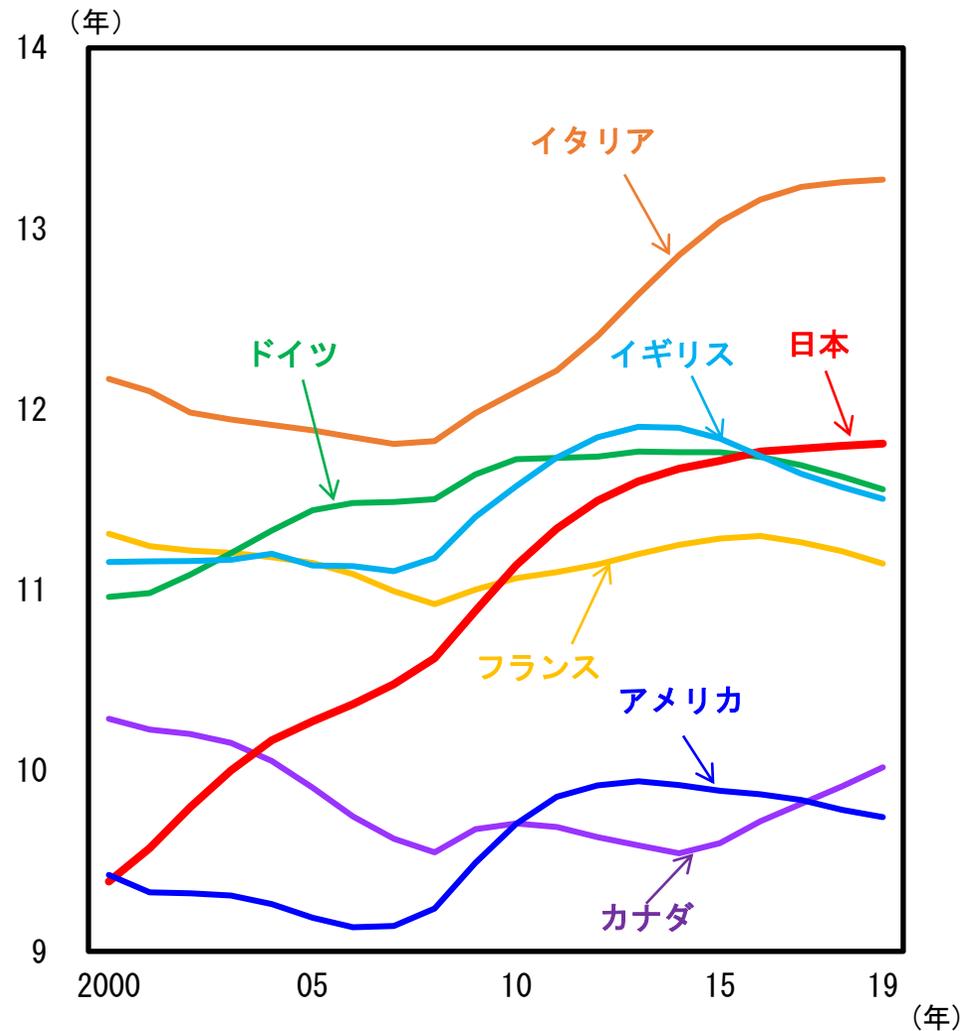
国内投資の低迷と資本の老朽化

～ 資本の老朽化に伴い、生産性上昇が妨げられるリスク～

図表3：国内投資と海外現地生産比率



図表4：資本の使用年数（ヴィンテージ）

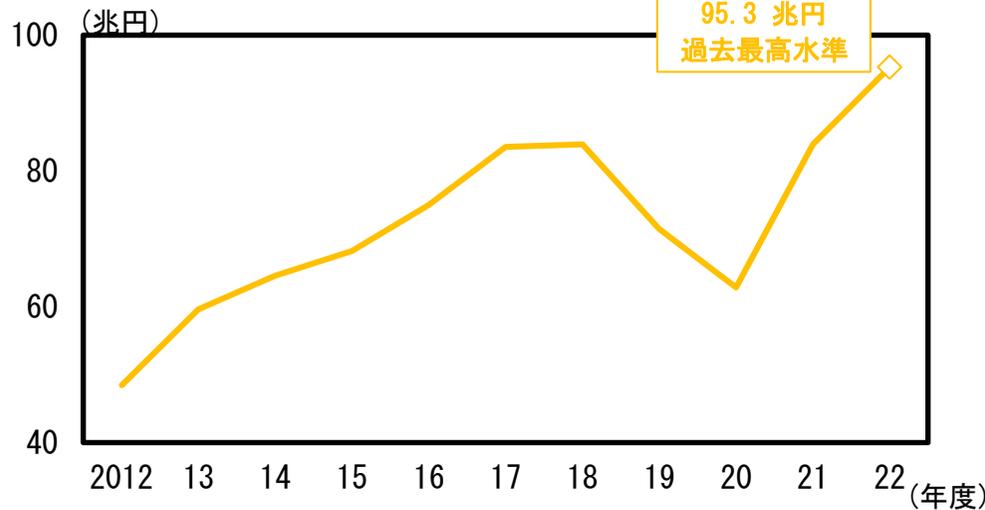


(備考) 図表3: 内閣府「企業行動に関するアンケート調査」、内閣府「国民経済計算」より作成。海外現地生産比率は製造業。図表4: 内閣府「令和5年度年次経済財政報告」より抜粋。

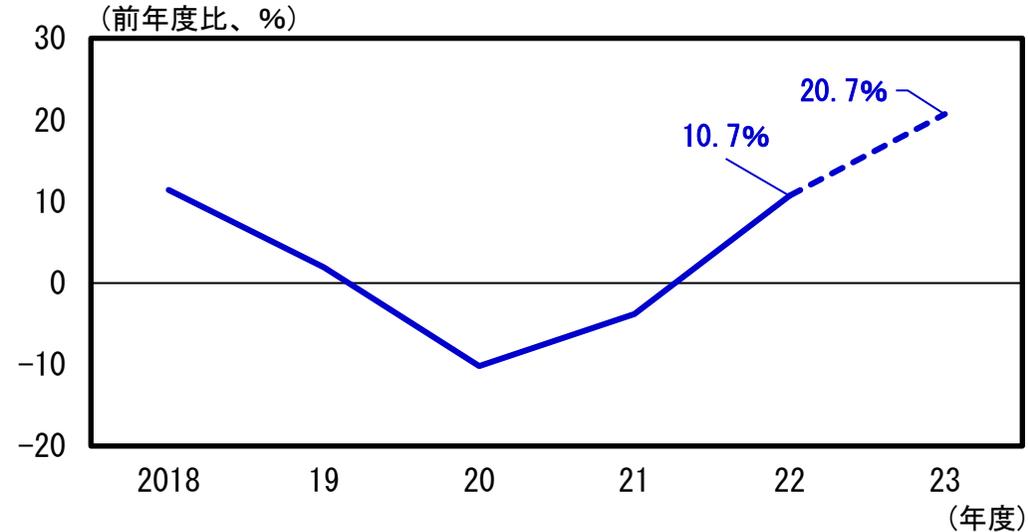
設備投資の拡大の動き

～ 経常利益が過去最高水準となる中、国内投資を拡大するチャンス ～

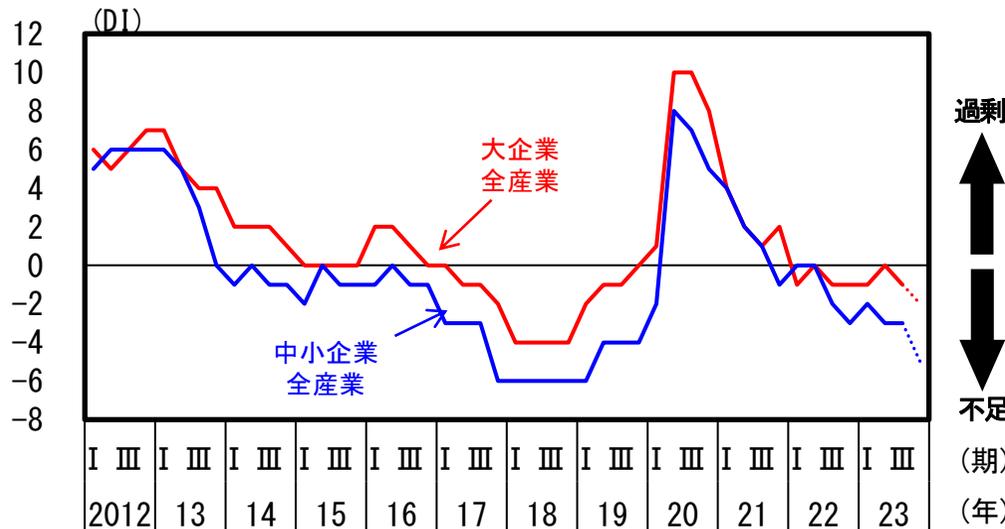
図表5：経常利益の推移（全規模・全産業）



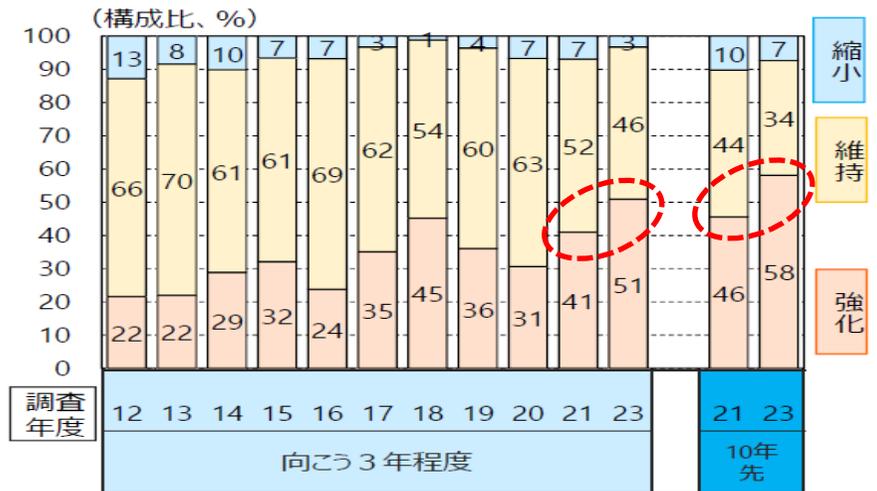
図表7：設備投資計画



図表6：生産・営業用設備判断DI



図表8：国内生産拠点における中長期的な供給能力の見通し



(備考) 図表5: 財務省「法人企業統計季報」より作成。除く金融保険業。図表6: 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」より作成。点線は先行き。図表7・8: 日本政策投資銀行「設備投資計画調査」より作成。製造業。